



テルモ株式会社  
会社案内

テルモは 1921 年、第一次世界大戦の影響によって  
輸入が途絶えた良質な体温計を国内で生産するために、  
北里柴三郎博士をはじめとした医師らが発起人となって設立されました。

当時の設立趣意書には、こんな言葉がつつられています。  
「“国民の保健は衛生思想の普及”にかかっており、  
“国民の健康が国家安定の基礎”であるという見地からすれば、  
これは国家的な工業ということが出来ます。」

設立者たちの想いは、今日に至るまで連綿と受け継がれ、  
「医療を通じて社会に貢献する」というテルモの企業理念に繋がっています。



## 企業理念

# 医療を通じて社会に貢献する

私たちは、医療の分野において価値ある商品とサービスを提供し、医療を支える人・受ける人双方の信頼に応え、社会に貢献します。

## コアバリューズ

### Respect (尊重) — 他者の尊重

私たちは、アソシエイト、お客様、そしてビジネスパートナーに対して敬意と感謝の気持ちをもって接します。多様な文化や個性を理解し、異なる意見や社会の声にも広く耳を傾け、自らの成長に繋げていきます。

### Integrity (誠実) — 企業理念を胸に

私たちは、人々のいのちや健康に関わる企業のアソシエイトとして、常に、誠実に使命感をもって行動します。日々努力し、全てのステークホルダーとの間に、確かな信頼を築いていきます。

### Care (ケア) — 患者さんへの想い

私たちは、自らの活動が、患者さんにつながっていることを常に忘れず行動します。医療に携わる人々を深く理解することに努め、患者さんのより良い未来の実現をともに支えていきます。

### Quality (品質) — 優れた仕事へのこだわり

私たちは、安全と安心の医療を提供するために、常に現場視点で課題を捉え解決策を見つけ出します。製品品質のみならず、供給やサービスなど、全ての活動におけるクオリティの向上を徹底的に追求します。

### Creativity (創造力) — イノベーションの追求

私たちは、未来に挑戦する風土を大切に、好奇心と情熱をもって取り組みます。医療現場のニーズを的確に捉え、価値ある製品やサービスを最適なタイミングで届けていきます。

\*テルモでは従業員を共に働く仲間という意味を込めて「アソシエイト」と呼んでいます。

# 医療を取り巻く環境の変化に向き合い 医療機器メーカーの枠を超えて 革新的かつ包括的なソリューションの創出へ

テルモグループは、「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、世界160以上の国や地域の医療現場と患者さんに向けて、高品質な製品やサービスをお届けしています。

私たちの使命は、医療課題の解決を通じた「医療の進化」と「患者さんのQOL向上」への貢献です。

近年、高齢化による慢性疾患の増加、デジタル技術による医療の効率化、そしてバイオ医薬品の拡大やゲノム医療の発展に伴い高度化する医療と経済性の両立など、医療を取り巻く社会環境の急速な変化により、医療課題はますます複雑化しています。

困難な課題に医療現場と協働して取り組み、より大きな価値を社会にもたらすため、私たちテルモは、絶えず自らを変革する姿勢を持ち、医療機器メーカーの枠を超えていきます。確かな技術に裏打ちされた品質とイノベーションにより、未来の医療ニーズに応え、製品だけでなく、サービスだけでもない、「医療課題への革新的かつ包括的なソリューション(解決策)」を創出し続けます。

今年、5カ年成長戦略「GS26」の3年目、中間地点となる年です。GS26の確実な達成と、その先の未来を見据え、30,000人のアソシエイトが一丸となることで、世界から必要とされる企業になるべく飽くなき挑戦を続けてまいります。今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長

高木 俊明

代表取締役社長CEO

鮫島 光





## 医療に、そして、命に寄り添う。

近年、医療のニーズが多様化するとともに、新たな治療領域における目覚ましい技術革新の中で、人々の健康との向き合い方も大きく変化しています。

一人ひとりの患者さんに最適な医療を提供し、その人らしい生活を応援したい。

これは、多くの医療従事者の皆様の願いであると同時に、私たちの願いでもあります。

テルモは、3つのカンパニーで事業をグローバルに展開。

医療現場のあらゆる課題を解決し、患者さんの治療効果とQOLの向上に導く

デバイスやソリューションをお届けしています。

私たちは、医療の今と未来に寄り添い、社会への貢献を実現し続けます。

# テルモは3つのカン 医療の現場に価値あるソ

## 心臓血管カンパニー



## メディカルケアソリューションズカンパニー



## 血液・細胞テクノロジーカンパニー



# パニーで事業を展開し ソリューションを届けます

## 血管内治療と心臓外科手術において、患者さんの負担軽減を追求する

人間の生命活動を支える脳・心臓・肺、そして全身の血管の病気の治療に関わる事業を展開しています。心臓や脳の血管にカテーテルを通して治療を行う血管内治療関連デバイス、心臓外科手術中に心臓・肺の機能を代替することで生命維持を行う人工肺や人工心肺装置、病気で傷んだ血管の代わりとなる人工血管やステントグラフトなどがあります。より良い治療効果の実現、患者さんの身体への負担軽減およびQOL向上を目指し、医療従事者と共に取り組んでいます。

- **Terumo Interventional Systems (TIS事業)**
- **MicroVention (ニューロバスキュラー事業)**
- **Terumo Cardiovascular (カーディオバスキュラー事業) / ハートシート事業**
- **Terumo Aortic (血管事業)**

## 患者さんのケアの質向上と医療の変革に貢献し、 医療に関わるすべての人に「やさしい医療」を提供する

近年、高齢化の進展に伴う患者数の増加や疾病の多重化・慢性化により医療費が増大しています。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、感染対策への意識が高まりました。さらには、テクノロジーの進歩による、患者さん一人ひとりの個性に合わせた個別化医療へのニーズも高まっています。このような多様化・複雑化する医療現場の課題やニーズに対し、これまで培ってきた強みを生かしたソリューションの提供をさらに充実させることで、患者さんのケアの質向上と医療の変革に貢献し、医療に関わるすべての人に「やさしい医療」を提供しています。

- **Terumo Medical Care Solutions** **メディカルケアソリューションズカンパニー**  
(**ホスピタルケアソリューション事業 / ライフケアソリューション事業 /**  
**ファーマシューティカルソリューション事業**)

## 血液・細胞治療の発展に貢献するとともに、世界の輸血医療を支える

献血された血液は血液センターにて血小板、血漿、赤血球などの成分に分けて製剤化され、輸血が必要な患者さんの治療に使用されます。テルモは血液バッグや採血機器などの製品供給を通して、血液センターでの安全かつ効率的な採血、製剤化、保管業務に貢献しています。さらに、治療分野では、患者さんの血液中の不要な成分を分離・除去したり、治療に必要な細胞を採取したりするための遠心分離技術を提供しています。こうした技術は、がん免疫療法や血液疾患などさまざまな病気の治療を可能にしています。日々進歩する細胞・遺伝子治療の分野では、治療に用いる細胞の採取から、細胞治療製品の生産プロセス自動化まで幅広く提案することで、より多くの患者さんに高品質な治療を提供できるよう支援しています。

- **Terumo Blood and Cell Technologies** **血液・細胞テクノロジーカンパニー**

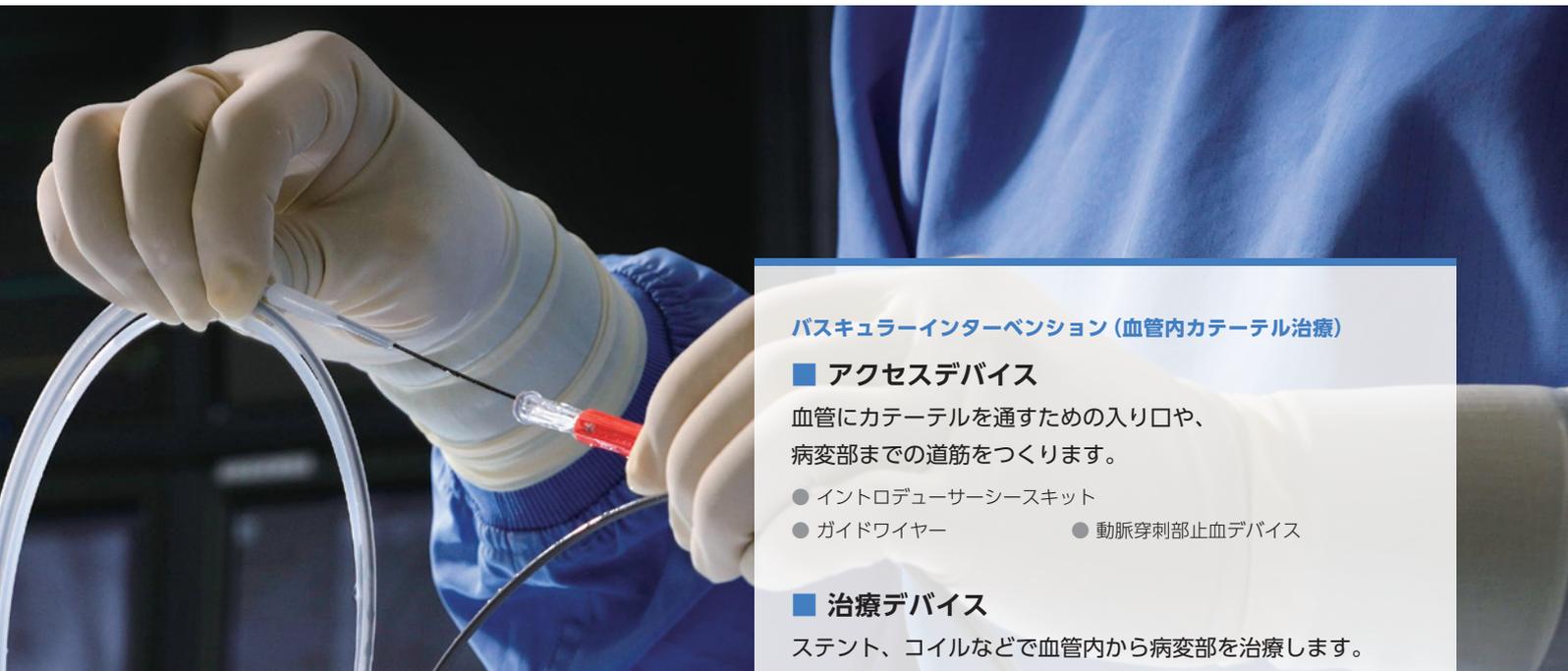
# TIS事業

心臓血管カンパニー



## 血管内治療の可能性を広げ、患者さんの負担が少ない治療に寄与します

心臓や下肢の血管の病気に対し、カテーテルを用いて治療する「バスキュラーインターベンション(血管内カテーテル治療)」や、血管内の状態を診るための「イメージング(画像診断)」、肝臓がんの化学療法「インターベンショナルオンコロジー」に関する製品を展開。治療効果の向上と、デバイス扱う医師が求める操作性や品質を追求するとともに、患者さんの身体にやさしい治療(低侵襲治療)の発展に貢献しています。



### バスキュラーインターベンション(血管内カテーテル治療)

#### ■ アクセスデバイス

血管にカテーテルを通すための入り口や、病変部までの道筋をつくります。

- イントロデューサーシースキット
- ガイドワイヤー
- 動脈穿刺部止血デバイス

#### ■ 治療デバイス

ステント、コイルなどで血管内から病変部を治療します。

- 薬剤溶出型冠動脈ステント(DES)
- 末梢血管用ステント
- 血管内塞栓用コイル

#### ■ イメージング(画像診断)

血管内壁の表面や断面を、超音波または光で観察します。

- 血管内超音波診断システム(IVUS)
- 血管内光干渉断層画像診断システム(OFDI)

### インターベンショナルオンコロジー(がん治療)

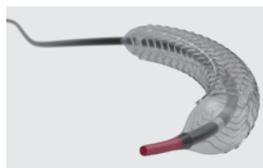
#### ■ IVR関連デバイス

がん細胞に通じる肝動脈にカテーテルを通して化学療法を行います。

- マイクロバルーンカテーテル
- マイクロカテーテル
- 放射線放出性ビーズ
- 薬剤溶出性ビーズ



イントロデューサーシースキット



薬剤溶出型冠動脈ステント(DES)



血管内超音波診断システム(IVUS)



マイクロカテーテル

## TOPICS

### 患者さんのQOL向上、医療経済性へのさらなる貢献 — TRIの普及を通して

テルモは、手首の血管からカテーテルを挿入して行う血管内治療「TRI(Transradial Intervention)」の普及にいち早く取り組んできました。TRIは、太腿の付け根の血管からの治療と比較して出血性合併症などの低減が期待でき、また入院期間短縮による医療費削減といった医療経済性の面でもメリットがあり、大きく普及が進んだ手技です。当初、心臓の血管の治療を中心に行われてきたTRIは、近年は末梢血管(ペリフェラル)や、肝臓がん化学塞栓療法(インターベンショナルオンコロジー)領域にも拡大しています。テルモはこれらの多様な治療において、手首からのアプローチが可能なデバイスのラインアップの拡充や開発に力を入れ、製品の適正使用トレーニングの提供、エビデンス構築の支援などさらなる普及に取り組んでいます。今後もテルモは患者さんのQOL向上と医療経済性に貢献します。

# ニューロバスキュラー事業

心臓血管カンパニー



## 脳血管疾患に対する血管内治療に独自のテクノロジーで革新を起こします

脳の血管の詰まりや瘤(脳動脈瘤)の破裂などにより血液の流れが阻害され、脳細胞が障害を受ける病態、いわゆる「脳卒中」に対するカテーテル治療製品を、ニューロバスキュラー事業を担う米国子会社マイクロベンション社は展開しています。脳動脈瘤や脳梗塞に対する治療デバイス、脳動静脈奇形に対応する液体塞栓材など、症例に最適な素材や設計の技術を生かす革新的なデバイスを創出することで、患者さんの負担が少ない脳血管治療の可能性を広げます。



### ■ 脳動脈瘤治療用デバイス

脳動脈にできた瘤の破裂を防ぐため、詰め物をしたり、瘤の入り口を塞いだりすることにより血流を遮断します。

- 脳動脈瘤塞栓用コイル
- 袋状塞栓デバイス
- 血流改变ステント
- コイル塞栓術用アシストステント

### ■ 血栓除去デバイス・頸動脈ステント

脳血管内の血栓の除去や、血管の詰まりの拡張を行います。

- 脳血栓吸引カテーテル
- 血栓除去デバイス
- 頸動脈ステント

### ■ 血流遮断デバイス

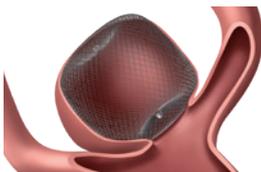
脳動静脈奇形など出血リスクのある脳血管に、バルーンや液状の塞栓材を用いて、血流を遮ります。

- オクリュージョン・バルーンカテーテル
- 液体塞栓材

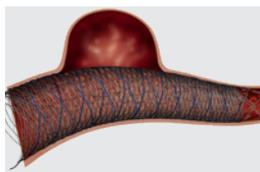
### ■ アクセスデバイス

脳血管内の病変部までの道筋をつくります。

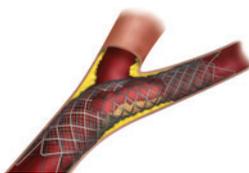
- マイクロカテーテル
- ガイドワイヤー



袋状塞栓デバイス



血流改变ステント



頸動脈ステント



脳血栓吸引カテーテル

イラストはイメージ図

## TOPICS

### 世界中の医療現場との連携で患者さんにより良い治療を提供

1997年に米国・南カリフォルニアで創業したマイクロベンション社は、2006年にテルモグループに加入しました。現在、米国、欧州、アジア、コスタリカと、グローバル各地域にオフィスを展開し、「患者さんの生活に価値のある改善をもたらす技術を創造する」という同じ志を持つ3,500人以上のエンジニア、マーケター、生産担当者、研究者、イノベーターが在籍しています。

私たちはカテーテルを用いた低侵襲の脳血管治療技術の開発を先導するパイオニアであり、動脈瘤、虚血性脳卒中、頸動脈、神経血管異常などの脳血管障害に対する治療に貢献しています。世界中の医師と密に連携し、現場からのフィードバックをもとに、まだ顕在化していないニーズをつかみ、革新的な製品をお届けすることで、患者さんにより良い治療を提供することに努めています。

## 世界初のテクノロジーで心臓病患者さんのQOL向上に貢献します

心臓外科手術中に停止させた心臓や肺に代わって、血液を体外で循環させる人工心肺装置、血液のガス交換を担う人工肺、緊急症例の患者さんの心肺機能を補助する体外式膜型人工肺(ECMO)、心臓を停止させずに行う外科手術の進行をサポートする医療機器などを開発および販売しています。重症心不全患者さんの新たな治療の選択肢として期待される、世界初の再生医療等製品を展開するハートシート事業と共に、イノベティブな技術で心臓病患者さんのQOL向上に貢献しています。



### カーディオバスキュラー事業 (Terumo Cardiovascular)

#### ■ 人工心肺システム

心臓外科手術の際、患者さんの心臓と肺に代わり、体外循環とガス交換を行います。

- ホローファイバー型人工肺
- 人工心肺装置
- 体外循環用血液パラメータモニターシステム

#### ■ 経皮的心肺補助システム(PCPS) / 体外式膜型人工肺 (ECMO)

急性心筋梗塞や心停止など、緊急症例の患者さんの心肺機能を補助します。

- 体外循環装置用遠心ポンプ駆動装置
- 人工心肺用回路システム
- 大腿動静脈カニューレ

#### ■ オフポンプ冠動脈バイパス術システム

心臓を止めずに行う外科手術の進行をサポートします。

### ハートシート事業

#### ■ 再生医療等製品

重症心不全の患者さんの大腿部から筋肉組織を採取、組織内に含まれる骨格筋芽細胞を培養してシート状にし、心臓表面に移植して使用します。薬物や外科手術による回復が難しい症例への治療の選択肢を提供します。



ホローファイバー型人工肺



経皮的心肺補助システム(PCPS) / 体外式膜型人工肺 (ECMO)



オフポンプ冠動脈バイパス術システム



骨格筋芽細胞シート

## TOPICS

### 医療従事者向け教育プログラムをグローバルに提供

患者さんにより良い治療を提供するために、医療従事者は常に学び続けています。カーディオバスキュラー事業では、クリニカルスペシャリストチームと人工心肺システムの専門家の経験や知見を組み合わせ、医療従事者がオンサイトまたはバーチャルで最新の研究や技術を学ぶことができる教育プログラムを、グローバルに提供しています。教育プログラムは講義やウェビナー、少人数での体験型ワークショップなど、さまざまな形式で実施しており、臨床教育へのアクセス拡大や、医療従事者間のネットワーキングや知識の共有にも貢献しています。



教育プログラムの風景

# 血管事業

心臓血管カンパニー



## 卓越した技術のシナジーにより患者さんに最適な大動脈治療を実現します

血管事業を担う Terumo Aortic は、大動脈疾患に対する外科手術と血管内治療で用いる人工血管とステントグラフトを中心に、幅広い症例に対応する多様な製品ラインアップを展開、世界 100 以上の国と地域で多くの患者さんの治療に貢献しています。また、今後はデジタル技術などを活用したソリューションや、一人ひとりの患者さんに最適な製品を提供することで、より良い治療効果に寄与します。

Terumo Aortic は、大動脈治療におけるイノベーションを追求していきます。



### ■ 人工血管

外科手術によって、病的な血管（大動脈瘤、大動脈解離）を置き換える治療に用います。

- 胸部用人工血管
- 腹部用人工血管

### ■ ステントグラフト

カテーテルによって、血管内（大動脈）の目的部位にバネ付きの人工血管を留置し、大動脈瘤が破裂しないようにしたり、大動脈解離が進行しないようにしたりする治療に用います。

- 胸部用ステントグラフト
- 腹部用ステントグラフト

### ■ フローズンエレファントトランク

人工血管とステントグラフトを組み合わせた構造により、2段階の手術を一度で実施する治療に用います。

- 胸部用フローズンエレファントトランク（ハイブリッド型）



胸部用人工血管



胸部用フローズンエレファントトランク  
（ハイブリッド型）



胸部用ステントグラフト



腹部用ステントグラフト

## TOPICS

### 大動脈治療用製品のカスタムメイドサービスが評価され英国王賞（企業部門）を受賞

Terumo Aortic が事業本家を置く英国において、卓越した成果をあげた企業に贈られる賞である「英国王賞（企業部門）」（The King's Awards for Enterprise）をイノベーションカテゴリーで受賞しました。既製品では対応が難しい複雑な病変の場合、欧州など、法令で許可されている一部の国や地域において、医療従事者の指示のもと、患者さんの症例情報や CT 画像などのデータから、製品のサイズや形状などを調整したカスタムメイド製品も提供しています\*。今後も、大動脈疾患治療用の革新的な医療機器を開発するとともに、デジタル技術の活用による患者さん一人ひとりに適した製品の提供に取り組んでまいります。

\* カスタムメイド製品は各国、地域の規制によって販売状況が異なります。2024 年 5 月現在、日本ではカスタムメイド製品の販売は行っていません。

# ホスピタルケアソリューション事業

メディカルケアソリューションズカンパニー



## 多様な病院課題を解決するソリューションを提供し、医療の質や安全性の向上に貢献します

ホスピタルケアソリューション事業は、医療安全、院内感染対策、医療費の抑制といった医療現場の多くのニーズに対して、患者さんや医療従事者の負担軽減、使い勝手向上につながる製品開発、医療機器使用における運用サポート、医療従事者へのトレーニングプログラムなどさまざまな提案を行っています。単なる製品提供では解決し難い課題に対するソリューション提案を通じ、「治療の安全性向上」「業務の効率化」「患者さんのQOL向上」に貢献します。



### ■ 周術期ソリューション

システム連携による薬剤投与業務の効率化と安全性の向上や、手術後の痛みの軽減や術後早期の栄養摂取を助け、患者さんの早期退院をサポートすることで、病院経営に貢献します。

- システム連携機能搭載 輸液・シリンジポンプ / ポンプモニタリングシステム
- 未開通投与防止機構付輸液バッグ
- 鎮痛薬 ● クローズド輸液システム ● 輸液 / 栄養兼用ポンプ

### ■ 外来化学療法ソリューション

外来化学療法における業務効率化と安全性の向上で医療ニーズに応えます。

- 閉鎖式抗がん剤投与システム (CSTD) ● 外来化学療法システム

### ■ 感染対策ソリューション

医療従事者の手指消毒などの感染対策や手術室や病室などの環境整備に貢献します。

- 手指消毒剤 ● 除菌剤含有クロス ● 紫外線照射ロボット

### ■ Women's Health ソリューション

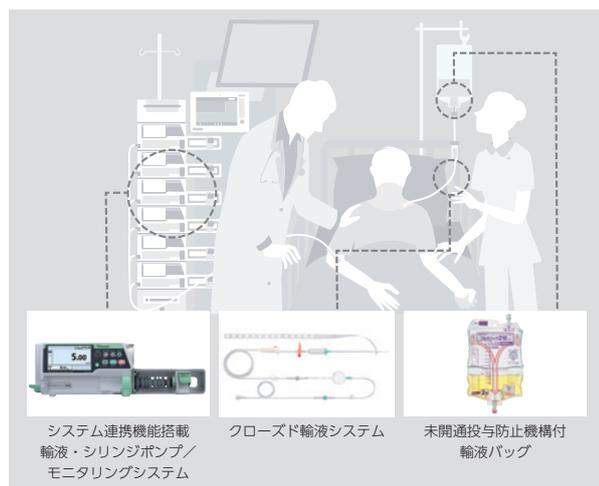
治療の選択肢の拡大や、低侵襲手術をより簡便により多くの施設で実施できるソリューションを提供します。

- スプレー式癒着防止材 ● フルディスポーザブル硬性子宮鏡

### ■ リーナル(腎臓)ケアソリューション

日常生活への負担が少ない透析療法とされる腹膜透析(PD)において、患者さんが安心して治療を受けるための製品を展開しています。

- 中性化腹膜透析液 ● 手動接続の腹膜透析液交換システム
- 無菌接合装置 ● 自動腹膜透析装置



## TOPICS

### 業務効率化に貢献するデジタルヘルスソリューションをグローバルで展開

アジア太平洋地域においては、効率性を高めながら患者さんにより良い治療を提供することや、医療従事者の人材不足に対応することが課題となっています。そのため、多くの病院では電子カルテシステムの活用やポンプモニタリングシステムの導入など、スタッフの生産性や患者管理の向上に役立つさまざまなデジタルトランスフォーメーションへの取り組みを加速させています。ソリューション軸でのアプローチを通じて、医療従事者が直面する課題を理解し、その課題を解決する製品を提案することで、患者さんへのより良いケアの提供に貢献します。

# ライフケアソリューション事業

メディカルケアソリューションズカンパニー



健康を願うすべての人に寄り添い、それぞれの患者さんに合ったソリューションを提案します

ライフケアソリューション事業は、糖尿病や高血圧をはじめとした慢性疾患を抱えながら生活している一人ひとりの患者さんに、個別に最適化された医療を実現するソリューションを提供しています。健康を願うすべての人に寄り添った新たな価値創出を通じて、「患者さんの予後改善」「重症化予防」そして「QOLの向上」に貢献します。



## ■ 糖尿病ケアソリューション

日常的な血糖管理やインスリン投与療法において使い勝手の向上や痛みなどの低減などを追求した製品を展開し、患者さんのQOL向上に貢献します。

- 血糖自己測定器
- パッチ式インスリンポンプ
- ペン型注入器用ディスプレイ注射針



パッチ式インスリンポンプ



病院向け電子血圧計

## ■ ベッドサイドケアソリューション

機器のシステム連携によりスムーズなワークフローを構築し、医療従事者の働き方改革に貢献します。

- 病院向け血糖測定器
- 電子体温計
- 病院向け電子血圧計
- パルスオキシメータ



通信機能付き測定機器シリーズ



電子体温計 / 皮膚赤外線体温計

## ■ 予防・重症化領域ソリューション

バイタル測定機器・管理アプリなどを通じて、人々の日常における健康管理をサポートします。

- 電子体温計
- 家庭向け電子血圧計
- パルスオキシメータ
- 血糖自己測定器

## TOPICS

### 環境にも配慮「スマホタイプ」のインスリンポンプ専用リモコン

テルモは1982年から40年以上にわたり糖尿病領域で革新的な製品を提供し続けており、2018年に日本初のパッチ式インスリンポンプを開発しました。製品使用者の方からの声に応え、日常生活により溶け込みやすいデザインやスムーズな操作性を実現するために、2023年にはパッチ式インスリンポンプのリモコンをスマホタイプの専用リモコンへリニューアルしました。本体の一部にはテルモ製品では初となる再生プラスチック材料を使用しています。テルモは、糖尿病のある方や製品使用者の方の要望や声に寄り添い、治療をしながらも「もっと、自分らしい毎日」の実現に近づけるようなソリューションをこれからも提供していきます。



※これらの製品の薬事承認および販売状況は、国や地域により異なります。

# ファーマシューティカルソリューション事業

メディカルケアソリューションズカンパニー



## 独自の技術で医薬品の価値向上とドラッグデリバリーの発展に貢献します

プレフィルド(薬剤充填済み)製品で培った独自の技術を生かし、製薬企業に新たな薬剤投与デバイスを提案しています。薬剤に適した素材技術を組み合わせさせたデバイスの開発や、高度な製造技術を生かした医薬品と医療機器のコンビネーションプロダクトの設計・製造を行っています。試験薬の製造から商用製品の生産に至るまで、製薬企業とのアライアンスを通じて、トータルソリューションを実現するとともに、患者さんにとって必要な薬剤を、安全かつ確実にお届けしています。



### ■ 医薬品開発製造パートナーリング

製薬企業とのパートナーシップを通じて、薬剤充填デバイスの設計から商用製造まで一貫してサポートします。

- 自己投与薬剤充填済みシリンジ
- セーフティ機能付き薬剤充填済みシリンジ
- オンボディインジェクター

### ■ 薬剤充填用容器の提供

バイオ医薬品やワクチンなどの薬剤に最適な素材をマッチングし、ユーザビリティの高いデバイスを提供します。

- 薬剤充填用シリンジ
- 皮内投与型デバイス

### ■ 薬剤キット用デバイスの提供

製薬企業が販売する医薬品に同梱するための投与用デバイスを提供し、医療現場の安全性と効率性に貢献します。

- 薬剤キット用注射針



自己投与薬剤充填済みシリンジ  
セーフティ機能付き薬剤充填済みシリンジ



薬剤充填用シリンジ



薬剤キット用注射針



皮内投与型デバイス

## TOPICS

### 製薬企業向けプレフィルドシリンジ受託製造の挑戦

医薬品や対象となる疾患の多様化、新しい治療法への需要の高まりなどにより、CDMO(開発製造受託)市場は着実に成長しています。テルモは新たな取り組みとして、エーザイ株式会社のアルツハイマー病治療薬について、同社とコンビネーション製品(オートインジェクター製剤)の共同開発を進めています。また、2023年度より、これまで国内製薬企業が中心だったCDMOビジネスの海外製薬企業向けプロモーションを開始し、日本で成功したCDMOビジネスモデルのグローバル展開を図っています。それらの実現を視野に入れて、山口工場の生産能力の拡充を行うとともに、2025年度には甲府工場において新棟の竣工が予定されています。

## 患者さんのいのちとより良い生活のために血液と細胞治療の可能性を追求します

血液や細胞は生命を維持するために必要不可欠なものであると同時に、がんや難病とされる病気の治療においても日々使用されます。米国子会社テルモ BCT 社が担う血液・細胞テクノロジーカンパニーは、こうした治療の品質と効率を高めるソリューションを創出することで、血液成分や細胞の採取、製剤化、開発、治療の提供において重要な役割を果たしています。また、治療アクセスの向上を目指して、患者さんに高品質で効果が期待できるケアや新たな治療法を提供できるよう、病院、血液・血漿採取センター、研究機関や細胞治療の開発者などのお客様を支援しています。



原料血漿採取システム



病原体低減化システム



成分採血システム



血液自動製剤システム



白血球除去フィルター付き血液バッグ



全血採血システム

### ■ 血漿イノベーション

希少疾患などの治療で使用される血漿分画製剤を製造するために、原料となる血漿を採取する技術を提供しています。こうした血漿を採取する装置、プログラムサポートそしてITソリューションといった独自のテクノロジーを包括した原料血漿採取のエコシステムを提供しています。このエコシステムにより、血漿採取センターにおける採取、ドナーエクスペリエンス、業務効率の最適化への支援を通して、血漿分画製剤を必要としている患者さんを支えています。

- 原料血漿採取システム

### ■ グローバルブラッドソリューション (血液センター向け事業)

血液センターで行われる採血と製剤化プロセスにおいて、品質と効率の向上に貢献。プロセスの自動化により、血液センターが需要に合致する成分を採血し、患者さんのもとに必要な血液製剤を提供できるように支援しています。

- 成分採血システム ● 血液自動製剤システム
- 白血球除去フィルター付き血液バッグ ● 病原体低減化システム
- 全血採血システム

※これらの製品の業事承認および販売状況は、国や地域により異なります。

# 血液・細胞テクノロジーカンパニー



## ■ グローバルセラピーイノベーション

### ●アフェレーシス治療ソリューション

テルモ BCT 社のアフェレーシスシステムは、病気の原因となる物質（病因関連物質）を含む血液成分を分離し、分離後の血液を体内に戻す高度な治療を提供・支援しています。さらに、患者さんの治療の対象となる細胞を健康なドナー細胞と交換する治療も可能です。アフェレーシス治療は、白血病や鎌状赤血球症などさまざまな疾患の治療に活用されています。また、他社のフィルターデバイスを組み合わせることで、免疫吸着療法を提供することも可能です。

- 遠心型血液成分分離装置



遠心型血液成分分離装置



血液成分に関わる多様な疾病の治療に遠心分離技術を活用



細胞製剤用充填・仕上げシステム



細胞増殖システム

### ●細胞治療テクノロジー

製薬企業やバイオテクノロジー企業では、細胞治療・遺伝子治療の研究や医薬品の開発のためにドナーから提供された細胞を利用しています。

テルモ BCT 社は従来の小規模かつ手作業による細胞製剤の製造において、工程の自動化を支援しています。細胞製剤の商業的な製造を支えることで、より多くの患者さんが先進的な治療を受けられるよう取り組んでいます。

- 細胞増殖システム
- 細胞製剤用充填・仕上げシステム
- 無菌接合装置

## TOPICS

### Blood and Beyond — 血液からの発展

テルモ BCT 社は、60 年にわたって血液採取・製剤化に携わり、そのプレゼンスを高め続けています。私たちの活動は血液センター内にとどまらず、テクノロジー、リーダーシップ、パートナーシップ、イノベーションを活用することでアンメットニーズに応え、患者さんの QOL 向上に貢献しています。

- **高まる需要に対応**：免疫不全疾患の治療に使用されることが多い血漿分画製剤に対する昨今の需要増加により、血漿成分献血の必要性が益々高まっています。このニーズに応えるために、私たちは血漿採取センターのリーディング企業と手を取り合い、効率性とドナーエクスペリエンスの改善に取り組みました。このパートナーシップの結果、血漿採取時間の短縮や採取量の最適化だけでなく、データを活用して生産性を向上させる新しいエコシステムを実現しました。これらの技術は、血液センターのオペレーション改善にもつながります。
- **手の届く医療費の実現**：治療成績などのデータをもとに、米国で外来アフェレーシス治療の保険償還率を上げることに取り組んでいます。高い償還率は、患者さんが負担するコストを低減するなど、治療へのアクセス向上につながります。同様の取り組みを通して、中国では 400 万人の潜在的な患者さんのために、血漿交換療法へのアクセスを拡大することに貢献しました。私たちの製品は、世界中のアフェレーシス治療の 80% 以上に使用されており、この分野において私たちはリーダーシップを発揮しています。
- **さらなる進化**：細胞治療や遺伝子療法が患者さんにより良い治療結果をもたらすためには、治療の原点となる細胞をアフェレーシスシステムによって高品質で採取することが極めて重要です。私たちは、これまでに培った知識と経験を生かして、開発者、病院、研究所が細胞採取を最適に行い、品質を安定化させられるよう支援をしています。加えて、独自の細胞採取の教育プログラムも提供しています。
- **自動化の推進**：血液製剤の安定供給は世界共通の関心事であり、ドナーの確保は依然として課題となっています。このニーズに応えるために全血からの血液製剤の製造自動化の普及を促進しています。自動化技術により、血液センターは 1 回の遠心分離サイクルで全血を成分ごとに製剤化することができ、生産性の向上や製造プロセスの標準化が期待できます。自動製剤化が世界標準になることで、より多くの血液センターが貴重な献血を最大限に活用できるようになります。

## TOPICS

### 鎌状赤血球症の患者さんが抱える健康格差への対応

鎌状赤血球症は深刻な痛みと生死にかかわる感染症などを引き起こす可能性がある遺伝性疾患です。アフェレーシス治療による赤血球の交換はこの病気をコントロールすることに役立ちますが、治療アクセスの問題から、全ての患者さんがアフェレーシス治療を受けられているわけではありません。

私たちは、治療アクセスの向上に多面的に取り組んでおり、英国ではこうした状況が変わりつつあります。テルモ BCT 社、NHS (英国国民保健サービス)、非営利組織の the Health Innovation Network、そして患者団体が共同で取り組みを進めた結果、NHS の 150 万ポンドの出資により、英国のさまざまな地域の病院に、アフェレーシス治療に使用する遠心型血液成分分離装置が導入されることとなりました。

英国各地での治療機会の拡大により、アフェレーシス治療の提供件数を年間 10,000 件以上増やすことが可能になるとみられ、今後多くの患者さんが自宅近くで、より良い治療を受けられるようになります。

# At a Glance

テルモグループの現在 2023 年度 (2024 年 3 月期)

## 業績 (連結)

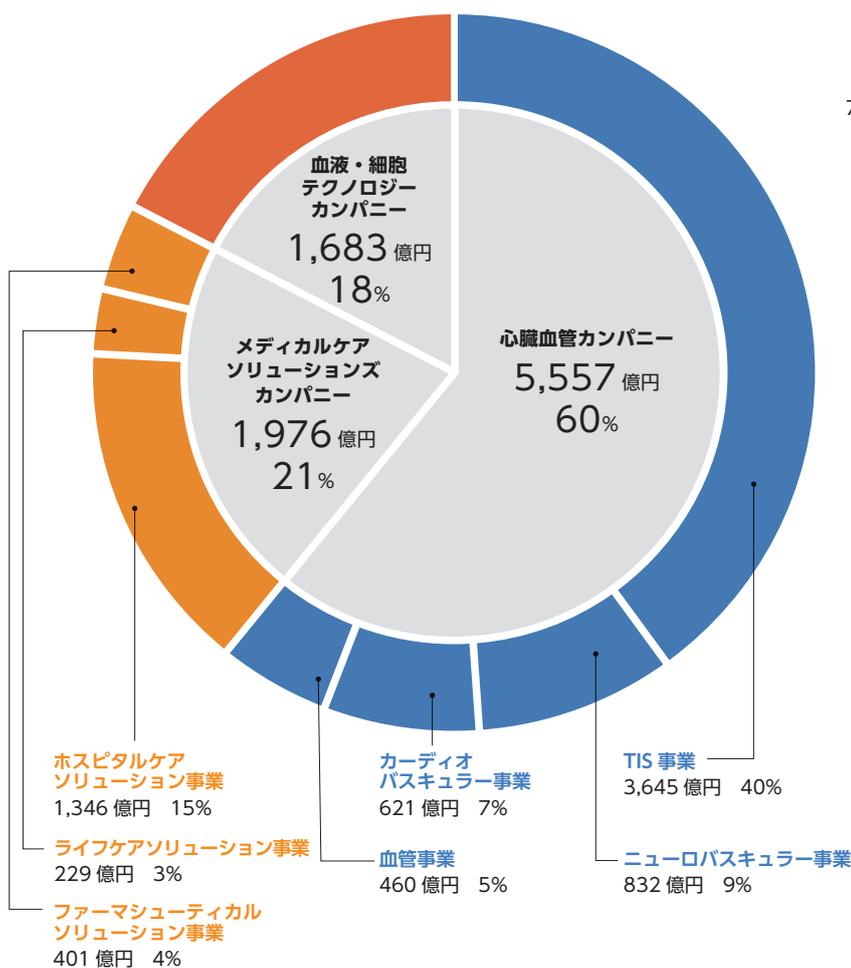
### 売上収益

9,219 億円

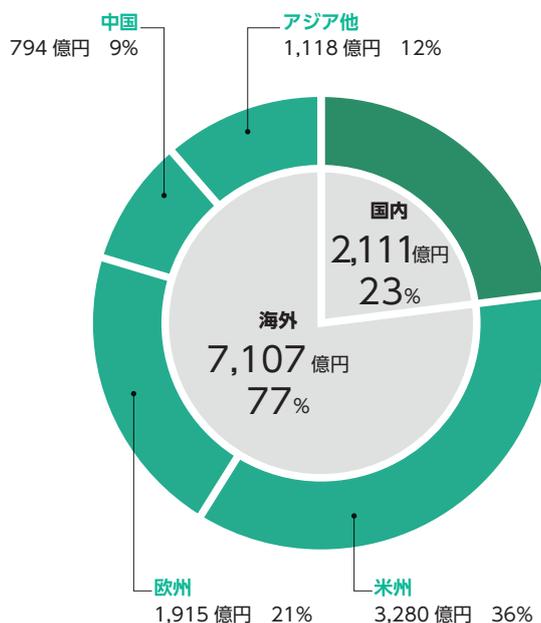
### 調整後営業利益

1,568 億円

### 事業別売上収益



### 地域別売上収益



構成比率は小数点以下を四捨五入しており、合計が 100% とならない場合があります。

## 事業 / 組織の規模

### 販売国・地域数

160 以上

### 連結子会社数

98 社

### 製品品種数

50,000 点以上

### 生産拠点数

全体 30 拠点  
 日本 8 拠点  
 海外 22 拠点

### 研究開発拠点数

全体 22 拠点  
 日本 6 拠点  
 海外 16 拠点

### 特許件数

約 8,800 件

## 人財

### アソシエイト(社員)数

#### テルモグループ

 **30,591**名

#### テルモ株式会社

 **5,554**名

#### 女性アソシエイト比率

 テルモグループ  
**46.3%**  
テルモ株式会社  
**19.8%**

#### 女性管理職比率

 テルモグループ  
**31.3%**  
テルモ株式会社  
**10.4%**

#### 男性育児休業取得率

 テルモ株式会社  
**76.6%**

## 主な選定・認定



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

テルモグループの2030年度の温室効果ガス排出量削減目標は、SBT イニシアチブより、「1.5℃水準」として認定を取得しています。



テルモは、FTSE Russell が作成する ESG 投資指数 [FTSE4Good Index Series] [FTSE Blossom Japan Index] [FTSE Blossom Japan Sector Relative Index] の構成銘柄に選定されています。  
(2024年3月末時点)

### 2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

テルモは、ESG(環境、社会、ガバナンス)投資の主要指数である「MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に選定されています。  
(2024年3月末時点)

テルモのMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社によるテルモへの後援、宣伝、販売促進を意味するものではありません。MSCIインデックスは、MSCIの独占的財産であり、その名称とロゴは、MSCIおよびその関係会社が所有する商標またはサービスマークです。



テルモは2023年度グッドデザイン賞を5製品で受賞しました。このうち輸液剤容器については、時代を超えてスタンダードであり続ける商品等に贈られる「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」をテルモとして初めて受賞しました。

主催：公益財団法人日本デザイン振興会



テルモは、経済産業省と東京証券取引所が共同で選出する「健康経営銘柄2024」、「Next なでしこ 共働き・共育て支援企業」に選定されています。

健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

## 会社概要

商号	テルモ株式会社
東京オフィス	〒163-1450 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー
幡ヶ谷オフィス(本社)	〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1
設立	1921年9月17日
資本金	387億円
代表者	代表取締役会長 高木 俊明 代表取締役社長 CEO 鮫島 光
事業内容	医療機器・医薬品の製造販売
株式	東証プライム市場上場



[www.terumo.co.jp](http://www.terumo.co.jp)



@terumo\_jp



/terumo-global/

# Our Associates

## アソシエイトの活躍

### 患者さんにとっての最良の医療に向けて ステークホルダーとの信頼関係を築き、医療現場と患者さんの期待に応える

日本 / テルモ株式会社 / MIS/Women's Health グループ長

自社で開発した癒着防止材を軸とする外科事業を立ち上げ、2022年からは低侵襲手術と女性医療に関わるデバイスを扱う部署のグループリーダーをしています。「外科的治療を受ける患者さんのQOL向上に貢献する」という志のもと、患者さんにとって最良の医療と一緒に目指したいという思いを医療現場の方々に伝え続け、行動することを大切にしています。可能な限り現場に足を運び、臨床で製品を使用いただく医師や看護師と密にコミュニケーションを取り、ニーズを着実に拾い上げるようにしてきました。ステークホルダーの方々との信頼関係を丁寧に築き、同じゴールを目指すパートナーとして、医療現場と患者さんの期待に応えられるよう仕事に取り組んでいます。



医療現場に可能な限り足を運び、より良い製品・ソリューション導入を目指す



### 他者への尊重を大切に、多様性がチームにもたらす可能性を追求

米国 / 米国子会社テルモ BCT 社 / 技術開発 システムエンジニア



多様性を尊重することでチームの可能性を最大限に引き出し、開発に取り組む

私は2003年にテルモに入社し、現在は成分採血システムのシステムエンジニアをしています。自分の持つ製品知識をさらなる機能改善や品質向上に役立てることにやりがいを感じています。私が最も意識しているコアバリューは、「Respect (尊重) - 他者の尊重」です。チーム内では、多様性を生かす風土があり、私の考えや意見も尊重されていると感じます。また私自身、インクルーシブな環境をつくるために、周りの意見に耳を傾けることを心掛けています。「We Will」という女性活躍推進 ARG (Associate Resource Group)\* のリーダーを兼務している立場から、多様性が組織文化全体にもたらす大きな価値を感じています。

\* 女性アソシエイトやLGBTQ など当事者が部門を超えて主体的に形成、交流するグループ

## グローバルなチームで、ビジネスプロセスの最適化と収益性改善に貢献

ベルギー / テルモ株式会社 / グローバルビジネスサービス シニアバイスプレジデント

私は 2022 年からグローバルビジネスサービス(GBS)のリーダーを務めています。GBS は、テルモグループ各社に共通する間接業務を集中的に担うことで、ビジネスプロセスの最適化や収益性改善を実現する部門です。現在、欧州、北米、コスタリカ、インド、日本に合計 100 名を超えるメンバーがおり、経理と購買の領域で活動を行っています。GBS のコミットメントを果たすためには、グローバルな視点でサービスを強化していくことに加え、それぞれの国や地域の事情に寄り添うローカルな視点を持つことも大切だと感じています。多様性に富むメンバーが集う組織という強みを生かして、全社のビジネスプロセス改革に取り組み、業務の高度化や効率化を通じて、テルモグループがお客様に提供する価値の拡大に貢献していきます。



テルモグループ全社のビジネスプロセス改善に向け、世界各地のメンバーと協働する

## 患者さんの生活に思いをはせて、品質にこだわる組織文化を醸成

コスタリカ / 米国子会社マイクロベンション社 / 品質保証 シニアエンジニア

現在、私はクリーンルームの環境管理を行う品質保証エンジニアとして働いています。入社から今に至るまで、品質を追求する情熱を自分の中に留めるだけでなく、周囲を巻き込んで、組織全体で品質への意識を高めることに注力してきました。例えば、毎年 11 月に開催している「Quality Week」では、品質に関する社内コンペを実施したり、医師を訪問して製品について対話をしたりすることで、品質にこだわり抜く文化の醸成に取り組んでいます。私たちが品質を追求することで、より安全で効果的な製品をお届けすることができ、それがひいては患者さんの QOL 向上につながると信じています。



品質にこだわる文化の醸成に取り組む



# Our Activities

テルモグループの活動 2023年度(2024年3月期)

## 地域社会への取り組み

### 日本式の安全・安心な心臓カテーテル治療をケニアへ

ケニアでは近年、非感染症疾患、特に循環器疾患により亡くなる方の比率が高いことが、大きな課題となっています。テルモは日本式の安全・安心な心臓カテーテル治療(PCI)のケニアでの普及をテーマとした事業提案をまとめ、令和5年度医療技術等国際展開推進事業\*へ応募し採択されました。本事業では、日本人医師の協力の下、ケニアの医師に対してPCIのトレーニングを実施するとともに、トレーニングを現地に定着させる仕組みづくりにも取り組みました。今後も安全・安心なPCIの普及を通じて、アフリカ地域の医療課題の解決に貢献します。

\* 国立研究開発法人国立国際医療研究センター(National Center for Global Health and Medicine, NCGM)が主体となって実施する厚生労働省より委託された令和5年度医療技術等国際展開推進事業。



ケニアの医師へのPCIトレーニング

### 献血推進プログラム「From the Heart」、グローバルでの活動の広がり

世界中の血液センターや医療機関で、輸血用の血液および献血者の確保が課題となっています。テルモでは、血液・細胞テクノロジーカンパニーが中心となり、グローバルでの献血推進プログラム「From the Heart」を実施しています。各地域での献血イベントの開催や啓発活動を通じて、安全かつ持続可能な血液供給への貢献を目指しています。活動は世界中のテルモグループ内で広がりを見せており、特に米国では子会社間で活動内容のアイデアや好事例を共有するなどの連携が始まっています。2023年は、430回の献血イベントを通して、世界中で3,200人以上のアンシエイトが20,000回を超える献血に貢献しました。より多くの患者さんを救えるように、さらに協力の輪を広げていきます。



献血イベントの様子

## 医療課題の解決

### 医療従事者向けトレーニングを世界中に提供し続ける

医療機器は正しく使用されることで、初めてその効果を十分に発揮します。しかし、国や地域によっては医療トレーニングを受ける機会が少なく、十分な知識や技能、経験を持つ医療従事者が不足していることが課題となっています。そこで、テルモは世界中に医療従事者向けトレーニングを提供できる体制の構築に取り組んでいます。日本では、2002年に手術室やカテーテル室など病院と同等の医療環境を有する「テルモメディカルプラネックス」を開業、国内外の医師や看護師、臨床工学技士などにトレーニングの機会を提供してきました。現在、海外15カ所にトレーニングセンターを開業し、各地域の医療ニーズに応じたトレーニングの提供を行っています。



テルモメディカルプラネックスでのトレーニング



メキシコのトレーニングセンター

## 多様な人財の活躍

### アソシエイトと会社の成長を共に実現

テルモはアソシエイトが会社と共に成長し続ける組織づくりを目指しており、新しいことへの挑戦や常に学び成長することを志向する「Growth Mindset」がテルモの組織文化として根付くよう、グループ一丸となって取り組んでいます。人財育成では、次世代経営層やグローバルリーダー、若手アソシエイト向け育成プログラムをテルモグループ全体で実施しています。2024年度より、アソシエイトのスキルや経験とキャリア機会をマッチングするAIを活用したプラットフォームを一部の専門職種でパイロット導入しました。公募やプロジェクト参画機会をグローバルに拡充することで、人財の成長と活躍を後押ししています。



グローバルリーダー育成プログラム「Mirai-e」の研修の様子

### 一人ひとりが自分らしく活躍できる環境づくり

グローバルにビジネスを展開するテルモでは、グループ共通の「DE&I フィロソフィー」に基づき、DE&Iを積極的に推進しています。インクルーシブな文化・風土を根付かせるため、4つの重点分野を選定し、各地域の特性に応じた展開をしています。具体的には、インクルーシブリーダーシップの推進に向けて、全経営役員によるDE&I取り組み目標宣言を行ったほか、ARG (Associate Resource Group)\*の活動支援、「テルモ DE&I Week」の開催なども行っています。今後も世界中のアソシエイトが自分の可能性を最大限発揮し、活躍できる環境づくりを推進することで、アソシエイトと会社の持続的成長を実現していきます。

\* 女性アソシエイトやLGBTQ など当事者が部門を超えて主体的に形成、交流するグループ



ビジネスリーダーからのメッセージを SNS でも発信 (テルモ DE&I Week)  
ビデオメッセージは右記二次元コードへ



## 環境への取り組み

### 環境負荷の低減に努め、2040年カーボンニュートラルを目指す

テルモは、事業活動に伴う温室効果ガス排出量の削減を重要な取り組みとして捉え、2040年度までにカーボンニュートラル\*の実現を目指します。その取り組みの一つとして、テルモベトナム工場では、メガソーラーパネルを設置しました。これにより、ベトナム工場全体の消費電力の14%を再生可能エネルギーでまかない、年間約2,700tのCO<sub>2</sub>削減効果が見込まれます。スコープ3についても、輸送ルートの一部を船による輸送に切り替えるなどCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでいます。その他、廃棄物の削減や資源の有効活用、環境にやさしい製品開発や生物多様性保全など、多岐にわたる施策を通じてグループ全体で環境負荷の低減に努めていきます。

\* 温室効果ガス排出量 スコープ 1+2



テルモベトナム工場 (ハノイ市)

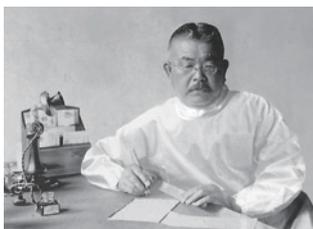


生物多様性保全を目指した「テルモ富士山森づくり」活動の様子

# テルモ100年の歩み

テルモは創業以来100年にわたり常に前進を続け、患者さんと医療現場の近くで、新しい価値を生み出しています。

## 国民衛生の基盤づくりを支援



写真提供：学校法人北里研究所 北里柴三郎記念博物館



北里柴三郎博士と設立趣意書

## 患者さんの身体的負担の軽減

**1982年**  
世界初多孔質ホローファイバー型人工肺を発売



**1985年**  
血管造影用カテーテルシステムを発売し、血管内カテーテル診断・治療分野に進出



## 患者さんにやさしい治療の追求

**1988年**  
腹膜透析システムを発売

**1993年**  
血糖測定システムを発売

**2005年**  
世界で最も細いインスリン等投与用注射針を発売

**2006年**  
脳血管内塞栓用コイルを発売



1921

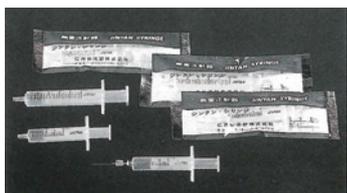
1960

1970

1980

1990

## 医療現場の感染対策



**1963年**  
日本初の単回使用の注射筒を発売

**1969年**  
日本初の血液バッグを発売

**1973年**  
血液バッグ開発で蓄積した技術をもとに、日本初のソフトバッグ入り輸液剤を発売



## 環境に配慮した製品づくり



**1983年**  
病院用予測式電子体温計を発売

**1985年**  
水銀体温計の生産を終了

## 医療現場に安全・



**1999年**  
プレフィルドシリンジ（薬剤充填済みシリンジ）を発売

## テルモグループの歩み

■ **1921年**  
北里柴三郎博士をはじめとする医師らが発起人となり、良質な体温計の国産化を目指して赤線検温器株式会社を設立

■ **1936年**  
仁丹体温計株式会社に商号を変更

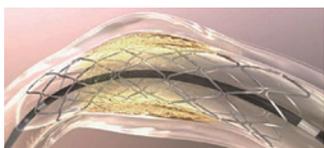
■ **1971年**  
米国と欧州（ベルギー）に現地法人を設立

■ **1974年**  
テルモ株式会社に商号を変更

■ **1989年**  
研究開発施設「湘南センター」を開設

## 変化する医療ニーズに対応

**2008年**  
薬剤溶出型冠動脈ステントを欧州で発売



**2018年**  
日本初のパッチ式インスリンポンプを発売



**2012年**  
フローズンエレファントトランクを  
欧州で発売



**2016年**  
世界初の重症心不全治療用の再生医療等製品として、  
ヒト(自己)骨格筋由来細胞シートを発売



**2016年**  
世界初の袋状塞栓デバイスを  
脳動脈瘤治療ラインアップに追加



**2019年**  
細胞製剤用充填・仕上げシステムを発売

**2020年**  
テルモBCT社が新たに「血液・細胞テクノロジー  
カンパニー」として、細胞治療分野を強化

**2020年～**  
ECMO、ワクチンシリンジなど  
コロナ禍における医療現場に  
グローバル規模で貢献

**2022年**  
原料血漿採取システムが  
米国FDA認証取得



**2022年**  
次世代の細胞増殖システムを発売



2000

2010

2020

2024

## 安心を提供

**2000年**  
クローズド輸液システムを発売

**2012年**  
未開通投与防止機構付  
輸液バッグを展開



## 治療技術の発展に貢献



**1990年代半ば～**  
TRI(手首の動脈を介したカテーテル治療)  
を支援

**2002年**  
「医療技術の創造と普及」を目的とする  
施設として、テルモメディカルプラネックス  
を設立

## 安全で効率的な医療の プラットフォームを提供



**2012年**  
院内ITと連携可能な輸液投与システム  
を発売

**2013年**  
通信機能付き測定機器シリーズを発売



■ **1999年**  
米国3M社から人工心肺事業を  
譲受し、テルモカーディオ  
バスキュラーシステムズ社を設立

■ **2002年**  
人工血管の製造販売会社・英国バス  
クテック社がテルモグループに加入

■ **2006年**  
脳血管内治療デバイスの製造販売会  
社・米国マイクロベンション社がテル  
モグループに加入

■ **2011年**  
血液・細胞テクノロジー分野の世界的  
企業・米国カリディアンBCT社(現テ  
ルモBCT社)がテルモグループに加入

■ **2017年**  
ステントグラフトの製造販売会社・  
米国ボルトンメディカル社がテルモ  
グループに加入

■ **2019年**  
企業理念体系を整備  
全アソシエイト共通の価値観  
「コアバリューズ」を制定

■ **2021年**  
創立100周年

■ **2022年**  
新カンパニーブランド  
「Terumo Medical Care  
Solutions」を発表



テルモ株式会社

東京オフィス

〒163-1450 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー

[www.terumo.co.jp](http://www.terumo.co.jp)



記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。

© テルモ株式会社 2024年7月 24T144